事例No.	1418
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	長崎県波佐見町

事例区分	一般行政

タグ	・事務の共同実施 ・EBPM ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施準備

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

長崎県　波佐見町（森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施準備）

- 波佐見町では、森林経営管理制度に対応するため、東彼杵郡３町と東彼杵郡森林組合が連携し、10年以上施業履歴がない私有人工林の洗い出しを行い、意向調査、集積及び森林整備について、年次計画を立て、森林経営管理制度に係る意向調査等の事務を東彼杵郡森林組合に委託し、３町が一体となった効果的な事業の推進を図ることとしている。
- 令和２年度は50.64haの意向調査を実施し、20.3haの集積計画を策定。令和３年度の保育間伐実施に向けて10.27haの調査・設計を委託により実施した。

□　事業内容

1　森林所有者への意向調査の実施、集積計画の策定

・災害リスクが他の箇所より高く、町が自ら森林整備を行う必要性が高いと判断した地区から優先して意向調査を実施。町内の私有林人工林50.64haの森林所有者に対し、森林の経営管理の意向を調査。

・意向調査の結果、本町に経営を委託したいとの意向があった20.3haについて、集積計画を策定。

【事　業　費】1,036千円（全額譲与税）

【実　　績】意向調査面積　50.64ha

2　間伐に向けた調査・設計

・令和３年度の保育間伐実施に向け、10.27haの調査・設計業務を委託。標準地調査等の現地調査結果を基に、設計積算までの業務を実施。

【事 業 費】1,870千円
（全額譲与税）

【実　　績】10.27ha



□　事業スキーム

東彼杵郡３町及び東彼杵郡森林組合が連携し、災害リスク等を鑑み施業箇所を選定

→各町において、対象者の洗い出しを税務部局等との連携の上実施

→意向調査発送、回収

□　工夫・留意した点

・東彼杵郡森林組合は、東彼杵郡３町の山林の経営委託を受けるなど、森林情報に精通しており、また地域林政アドバイザーを有することから、令和３年度以降の取組を検討する中では、そうした特性を生かせるよう、継続的な事務の委託について検討・準備を行った。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	6,006千円
②私有林人工林面積（※１）	1,911ha
③林野率（※２）	62%
④人口（※３）	14,891人
⑤林業就業者数（※３）	2人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より